



福祉の里の職員の仕事

福祉の里では、利用されている方一人一人に合わせて、その人が安心して楽しく過ごせるような環境を作るために、専門的な知識を持った職員が、チームを組んで関わっています。今回体験していただく仕事を紹介します。

職 種	どんなしごと？
保育士 	子どもが遊びを楽しめるように、あそび方を考えたり、道具を準備したりします。ちょっと苦手なことにも一緒にチャレンジしていきます。また、身の回りのことが自分でできるように、細かくていねいに教えます。子育てに悩んでいるお母さんや家族の相談にものります。
生活支援員 介護福祉士 社会福祉士 	障がいのある大人の方が、毎日充実した生活を送れるよう、その人が得意なことや、やりがいを感じられる仕事をみつけ、仕事がしやすくなるように工夫します。また、運動や音楽、創作などの楽しい活動を一緒に行います。
看護師 	施設を利用している人の毎日の体調の管理や、病気やけがをした時に処置をします。また、機械で痰を取ったり、口から食べられない人が鼻や胃から管で栄養をとるお手伝いをしたりします。
管理栄養士 	施設を利用している人の給食の献立を立て、調理員さんに作り方を指示します。普通食が食べられない利用者さんのために、柔らかくしたり、とろみをつけたり、細かくしたりするなどの工夫もします。
理学療法士 	お座りや歩行などの運動発達がゆっくりしている、または、まひなどがある子に対し、楽しく遊びながら、少しずつ動きを覚えていけるように手助けします。
作業療法士 	生活に必要な動作を、子どもの好きな遊びを通して育てます。また、スプーンやお箸やハサミなどの生活の道具を使いやすいように工夫したりします。
言語聴覚士 	楽しい遊びを通して、その子に合った方法で、ことばを理解する力や人に伝える力を育てます。また、上手に食事が食べられるように、噛む力や飲みこむ力を育てます。
相談支援員 (社会福祉士) 	障がいのある人やその家族などが困っていることや心配なことをよく聞き、一緒に考えながら、解決していきます。必要な福祉のサービスの利用についても調整します。